

南港野鳥園存続 柳生博さん訴え

「損得で判断しないで」



スタッフから説明を聞きながら野鳥を観察する柳生博さん＝
大阪市住之江区南港北3丁目の大阪南港野鳥園

日本野鳥の会会長で俳優の柳生博さん(75)が10日、大阪市が廃止を検討している大阪南港野鳥園(住之江区)を視察した。柳生さんは「都市近くで人と自然が共存できている見本のような場所。損得だけで廃止の判断はしないで」と存続を訴えた。

1983年に大阪市が開園した野鳥園は、三つの人工干潟で構成され、毎年約150種類の野鳥が飛来する重要な生息地になっている。しかし、橋下徹市長の掲げる市政改革プランで、2014年度以降の廃止も視野に年2300万円の予算の見直しが盛り込まれ、日本野鳥の会は9月、園の存続を求める要望書を市に提出している。

干潟に集まるミサゴや水鳥を双眼鏡で観察した柳生さんは「多くの鳥が集まるというのは、それだけ周辺に自然環境が少ないということ。市長や役所の人にも一度見に来れば価値が分かるだろう」と語った。【川田惇史】